

4. 観光

	タイトル	意見等
1	観光振興について	○後藤田正純徳島県知事は観光振興について「サイクリング・アイランド 徳島」を実現しなければならない。 ※ 具体的には、早期の「大鳴門橋自転車用道路」の開通による「淡路島一周サイクリング」と「しまなみ海道サイクリング」との一体化及び一元化を図る。 ○後藤田正純徳島県知事は観光振興について「人間ドッグ健康診断検査」＋「クアハウス」（多目的温泉保養施設）＋「阿波踊り会館での阿波踊り体験」とを組み合わせた「メディカル・ヘルス・ツーリズム」を推進しなければならない。 ※ 具体的には、クアハウスについては「大江戸温泉物語」の開業を行う
2	県内に テーマパークを	淡路島 神戸を 見習い 人を 呼び込める 楽しい テーマパークを 造って欲しい
3	「徳島文化観光」の推進について	○徳島県が「阿波歴史文化道～阿波藍の道～」，「祖谷歴史文化道～平家物語・平家落人伝説の道～」，「四国の右下・阿南室戸歴史文化道～海女の文化と空海修業の地～」の推進を行う。 ○徳島県が「阿波歴史文化回廊～阿波藍色回廊～」(吉野川流域)，「阿波歴史文化回廊～紺碧回廊～」(四国の右下海岸部)，「阿波歴史文化回廊～緑色回廊～」(山間部)の推進を行う。
4	クルーズ船寄港時の対応について	徳島小松島港へのクルーズ船の寄港が年々増加しています。徳島県が魅力ある寄港地として、また各市町村が多くの乗客に足を運んでもらうように観光地のプロモーション活動をされていることと思います。下記、何度か港でボランティア活動をした経験からの意見です。 ・東武トップツアーズに港での業務委託は賛成ですが、県の担当者も内容を把握してほしい。当日参加のボランティアが県の担当者に質問しても答えられないことが多々ありました。観光案内所ではタクシーの手配やツアーバス、シャトルバスの運行について乗客からよく質問されます。ボランティアがどの方に尋ねればいいのか、東武トップツアーズと県の担当者の区別ができるようにしてほしいです。 ・自由行動の乗客に港から鳴門市のうずしお観潮船や大塚国際美術館、渦の道などへの行くためのルートや公共交通機関の案内をまとめたパンフレットを作成してください。停泊時間が長い場合は一番質問が多い観光地です。英語のパンフレットも充実させてください。 ・大型客船寄港時はシャトルバスの利用者が多く、行列ができることが多い。時間帯によっては1度にバスに乗りず、1時間待ちのこともあります。過去の事例をきちんとフィードバックし、シャトルバスの運行台数、時間、体制について再検討してほしいです。 ・地元市民を巻き込んだ歓迎体制を作してほしい。クルーズ・セミナーにおいて地元の方との触れ合いを大事にしたいと県の担当者の話がありましたが、地元市民へのアプローチがないためか、クルーズ船が来ているのを知らない、もしくは翌日の新聞で寄港を知ったという話をよく聞きます。外国船の場合は近くまで見学に行くことができないといった規制もありますが、市民に事前案内や歓送迎のイベントを開催するなど、もっとクルーズ船を身近に感じてもらう企画を検討してほしいです。 ・赤石岸壁に寄港する大型客船のときは土産物店やキッチンカーなどで賑やかですが、金磯岸壁はいつも寂しい感じがします。阿波踊りの顔はめ看板だけでなく、「ようこそ徳島へ」のような歓迎の横断幕があればと思います。 県もインバウンド効果を期待して客船誘致に取り組まれているのだと思います。よい寄港地だったと思ってもらえるような、また次は個人で徳島県を訪れてもらえるような港での雰囲気作りが大切だと思います。出来るところからご検討をよろしくお願いいたします。
5	「徳島ジャンクオーバークロッキング大会」開催に関する要望書	徳島県内に眠る旧世代パソコンパーツ（Core2Duo）を活用し、産業振興・若年層教育・SDGs推進を兼ねたイベント「徳島ジャンクオーバークロッキング大会（仮称）」の開催を要望いたします。 本事業は、県内外から広く参加者を募り、廃棄されつつある中古PCパーツを再活用し、技術競技・電子工作・冷却技術などを競うことで、徳島県の電子工作文化の醸成と次世代人材育成に寄与するものです。特に、15歳以下・18歳以下・25歳以下・一般の空冷部門、及び冷却制限なしの「無差別級」部門を設け、若者から社会人、熟練者まで幅広い層に学びと挑戦の機会を提供します。 また芸術賞、ユーモア賞、SDGs賞などの副賞も設けることで、単なる競技に留まらず、多様な才能を讃えるイベントとします。500万円規模の賞金を用意した本大会は世界からの注目も期待でき、PC技術への関心とともに徳島の知名度向上にも貢献するものです。 徳島県におかれましては本事業の趣旨をご理解いただき、実現に向けたご支援・ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。 備考 ・ハードオフ、パソコン工房などリユース・PC関連事業者との提携による、中古パーツ循環と県内リユース事業の振興を計画 ・世界的にも類を見ない賞金と内容の大会とし「ジャンクパーツを使用したオーバークロッキング大会賞金世界一」としてギネス世界記録認定を目指す ・大会開催を通じて、電子工作教育・リユース文化・PC技術の地域浸透を図る